

新型コロナウイルス感染症の発生について(第3報)

2020.5.13

2020年4月30日に海南病院職員が新型コロナウイルスに感染に罹患いたしました件につきまして、その後の経過をご報告申し上げます。

1. 経過

- ・5月12日(火)12時 罹患職員は2回のPCR検査がいずれも陰性となり、厚生労働省が定める退院基準を満たしたため、退院となりました。今後2週間は自宅待機として厳重な体調管理を継続する予定です。

また、罹患職員との接触時間が長かったため、自宅待機となっておりました3名の職員におきましては、これまでに発熱などの体調異常を認める者はいませんでした。職場復帰の前に念のために実施した2回目のPCR検査でも、3名とも陰性が確認できましたので、順次職場復帰となる予定です。

その他の22名の接触者の中には、現在までに発熱などの体調異常を認める者はいません。

2. 当院の対応

- ・接触者以外の全職員も、就業前に検温、体調チェックを行うことを義務として、厳重な健康監視を継続してまいります。
- ・面会禁止の措置は、院内感染防止のため、しばらく継続させていただきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3. 地域住民、関係機関の皆さまへ

- ・当院では、全職員が新型コロナウイルスに感染に対する警戒意識をさらに高め、厳重な感染防御態勢の元で、通常通りの診療を行っております。

このたびは海南病院の職員が新型コロナウイルスに感染し、皆様に大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

今後も地域の中核病院として、しっかりとその役割を果たして参りたいと思いますので、引き続きご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。